

～いけがみ歯科は、頑張るあなたを応援しています～



Good bye Perio プロジェクト

こんにちは歯科衛生士の松本です。

みなさんは歯ブラシで何を落とすかご存知ですか？

歯と歯、歯と歯茎の間の

「**食べ物のカス**」これを歯ブラシでとると思っている方が多いのではないのでしょうか。

しかしこの「**食べ物のカス**」をとるのはさほど重要ではありません。

本当にとってほしいのは

「**歯垢(フラー)**」という歯にくっついたバイ菌をとってほしいのです。

このバイ菌は24～48時間で歯の表面にべったりとくっつきます。水あかみみたいな

「**ヌルとした汚れ**」です。

このヌルとした汚れをとってほしいのです。

そのヌメリをとる方法が

「**フラッシング**」です。

フラッシングしかないのです。

～あなたの声を聞かせてください(患者さまの声)～

このスペースでは、治療後に寄せられた患者さまの声を掲載しています。

以前の歯医者さんのイメージは暗くて、痛くて、もう行きたくないと思う事がよくありましたが、こちらでの治療は、足を運ぶ事が苦にならず、みなさん親切で、大変ありがたかったです。あらためて、歯の大切さ、食べる事の喜びを感じています。ありがとうございました。
(岡山市/堀部政夫さん)

歯っぴ～通信

平成25年11月号 Vol.70



雨に降られる秋ですね・・・！？

こんにちは。いけがみ歯科クリニック院長の池上誠です。11月になりましたね。ちょっと前まで「暑い暑い」と言っていたのが嘘のように朝晩ひんやりしてきましたね。秋本番という感じですね。その秋ですが、今年は台風の被害が深刻ですね。京都の嵐山の渡月橋の上を濁流が流れる映像は衝撃的でした。また、伊豆大島での被害も大きかったようですね。県内でも警報が出る日があり、今年は特に台風注目させられています。日本近海の海水温の上昇がひとつの原因のようですが、仮にそれが地球温暖化の影響であるならば、今年より来年、来年より再来年のほうが台風の影響を受けやすくなるということですよ。日本に被害を及ぼす台風がやってくるのが、毎年のことになる日が来るのかもしれないと思うと少し怖い気もします。致し方ない面もあるのかも知れませんが、一個人としてできることはなんだろうか？と考えてしまいます。一方で、災害が起きたときの備えをきちんとしておかないといけないなあと思いました。みなさんは、いかがですか？

院長 池上 誠

噛み合わせのお話⑩～食べ方のチェック～

今回は、噛み合わせが悪くなる原因の一つ、食事の食べ方についてお話します。まずは、何を食べているかをチェックしてください。やわらかいものばかり、さほど咀嚼しなくても食べられるものばかり食べていませんか？そういった場合あごの筋肉が衰えて、噛み合わせが悪くなるケースがあります。次に、咀嚼の方法です。食べ物を噛んでいるときに上下の唇が合わさっていますか？口を開いたままの咀嚼だと、同様に噛み合わせが悪くなるケースがあります。つまり、ある程度硬さのあるものを、口を閉じた状況でよく噛んで食べていると、噛み合わせが悪くなりにくいといえます。ご自身だけでなく、周りにいる人たちの食事の摂り方を見てみると、片噛みの傾向や噛み合わせの傾向がわかると思います。噛み合わせの不具合は、口を閉じて咀嚼するだけでも、改善することもあります。食事中でなくても、唇を合わせて、あごや舌を動かすだけでも同様の効果が期待できます。気になる方は、お気軽にご相談下さい。

〒700-0827
岡山市平和町6-27
WAKAビル2F
発行：池上誠



歯科・口腔外科・小児歯科・
レーザー治療・予防歯科・
インプラント・ホワイトニング
西川沿い・岡山駅から徒歩10分
いけがみ歯科クリニック
(086)237-7731